

R5山梨県におけるFIT調達期間終了後の太陽光発電施設に関する検討会

議論の方向

50kW未満の小規模な野立て太陽光発電施設が大半を占める本県の実態を踏まえ、県としての具体的な取り組みを整理

<R4検討会で抽出した課題>

- ・小規模施設の事業集約
- ・リユースパネルの需要
- ・適正な維持管理の徹底
- ・リユースパネルの性能保証
- ・地域との信頼関係の構築
- など

<国の検討会・WGの議論>

- ・再エネの適正導入
- ・長期電源化・地域共生
- ・廃棄・リサイクル

法制度・仕組み
の構築

次の3点にテーマを絞って議論を展開

① 長期電源化の推進

- ・百年ソーラー山梨やP2Gシステムなど県独自の施策を取り込んだ長期電源化について
- ・太陽光条例に基づく施設の適正な維持管理の徹底

② 地域との共生、地域貢献の在り方

- ・地域の理解と信頼関係の構築、地域電源としての活用など地域貢献について

③ 太陽光パネルのリユースの推進

- ・リユースに向けた性能評価の在り方、県内でリユース市場は成り立つのか

◎太陽光パネルの大量排出の抑制
施設の適正管理の徹底、長期電源化に向けた取り組みの検討

<スケジュール>

第1回(5月29日): ①の整理・対応案の検討(発表者: ヒラソル・エナジー)

第2回(7月下旬): ②③の整理・対応案の検討

第3回(10月下旬): とりまとめ(太陽光条例の制度改正、地域との共生を踏まえた長期電源化の施策案)

FIT調達期間終了後の太陽光発電施設及び使用済パネルの取り扱いの課題整理表

	短期的な課題	中期的な課題	長期的な課題
事業継続に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なメンテナンスの必要性 安全で安心な施設の設置 地域に理解を求める情報発信 優良事業者の認定などインセンティブの付与 外的要因（土地所有者の意向など）への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 自家消費の検討 小規模施設の事業集約 事業譲渡の透明性 地域との信頼関係の構築 事業継続における設備投資 	<ul style="list-style-type: none"> 長期安定稼働の実現 再エネ電力の地産地消
事業廃止に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 条例における事業廃止後の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止施設が放置されない仕組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止施設が放置された場合の対処
リユース・リサイクルに関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄パネル発生量の推計 関係事業者等の処理に関する知識不足 処理等の依頼先がわからない 被災したパネルのリユースの指針等が必要 被災したパネルの引き取り手がみつからない 排出時や運搬時の作業手順マニュアルが必要 	<ul style="list-style-type: none"> パネルを集める手法の検討 小ロットの回収スキームの検討 リユース、リサイクルへのインセンティブの付与 廃棄パネル処理の平準化の仕組みの検討（廃掃法の保管期限等の取り扱い） 廃棄情報の集約及び発信 リユースパネルの保証が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 建り法と同様な仕組みが必要 家庭用のパソコンを家電リサイクル法の対象とする 分別した素材（ガラス）の利用促進 大量廃棄に向けて処理能力が不足